道徳教育全体計画

本校の教育目標

豊かな心をもち、自ら正しく判断して
行動することもを育てる

児童の実態
地域の特性

保護者、地域の願い
教師の願い

教科指導

・各教科の目標を達成する過程で、各内容に即した道徳性を養う。
・聞く・話すなど基本的な学習態度を身に着ける。

めざす子ども像

○　心身ともにたくましい子
○　思いやりの心をもち、助け合い、努力する子
○　自ら学び、考え、最後までやりとげる子

他領域の活動

・同和・人権教育と連携し、子どもたちの人権意識の高揚を図る。
・日常生活に即して好ましい人間関係・心身の健康・安全の保持等、よりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

道徳教育の重点目標

教育活動全体を通して、自己の生き方を考え、主体的な判断のもとに行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

指導の重点目標

低学年　・友だちと仲良くし、助け合う。
　　・自分がすべき勉強や仕事はしっかり行う。

中学年　・正しいと思うことは勇気をもって行う。
　　・生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。
　　・約束や社会のきまりを守り、公徳心をもつ。

高学年　・謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にする。
　　・誰に対しても差別することや偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。

道徳科

自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育てる。

特別活動

子どもの意欲的な集団活動を通して、個性の伸長を図り、心身ともに健全な生活を築こうとする態度を育てる。

総合的な学習の時間

生きる力をはぐくむことを目指して、自ら考え、自ら学ぶ力の育成を図るとともに個性を生かすようにする。

家庭・地域との連携

子どもを中心に、学校、家庭、地域社会が連携を密にし、主体的に生きる子どもを育てる。